

■ご挨拶

代表理事再任にあたってのご挨拶 —日本風力業界の力強い成長に向けて—



日本風力発電協会 代表理事 **高本 学**

株式会社日立製作所 電力ビジネスユニット 新エネルギーソリューション事業部長

はじめに

協会皆様におかれましては、日頃より当協会の活動理念にご理解を頂き、また風力発電導入拡大に向けてさまざまな活動を頂いており、心より感謝申し上げます。

環境アセスメントの長期化による導入量停滞の時期を抜け出し、稼働発電所もやや増加傾向にはありますが、私どもが願う日本の電源の主力プレーヤーの立場をより鮮明にするよう、力強い風力業界の成長に向け共に努力してゆくよう、一丸となって進むべく、代表理事再任にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

風力発電設備コストダウンと地域創生

諸外国に比較して、山岳地帯に設置せねばならない国土環境、そのために増加してしまう設置工事費用、あるいは導入量絶対値が低いがために物量効果によるコストダウン効果が不十分である、台風や雷など自然災害が多いため日本の風土に適した風車仕様とせねばならない点などの要因が確かに存在し、そのために風力発電設備に期待されているコストダウンと発電単価の低減が不十分な側面があります。

しかしながら、風力発電が真の国産エネルギーとして幅広く国民の皆様へ支持されるためには、この障害を乗り越え、諸外国に負けない発電単価に低減していく努力が必要です。私は、JWPAを構成して頂いている、幅広い各業界の皆様がその持てる技術潜在力を発揮することにより、必ずや諸外国に負けない発電単価を達成できると信じています。是非皆様と一緒に、あらゆる検討を加え、信頼され、国民に愛される風力業界に成長していきたいと願っています。

また、エネルギーセキュリティの向上と同様に、地域創生もまた風力業界に期待されているポイントです。より信頼性の高い部品生産、20年間長期安定運転を担保する保守サプライチェーンの確立、高度技術を有する保守員育成

プログラム、ロボットなどを活用した安全・安心の保守点検サービス、長期保証保険制度など、風力業界の幅広い裾野拡大を目指して行きたいと思っています。

風力導入促進のための課題と対応策

JWPAでは、2030年度3,620万kWの設備導入量を目指した、Wind Visionを策定し公表致しました。この目標を達成するためには大きな課題が存在しますが、下記の解決施策などを一つ一つ検証し、提言・実行に移していきたいと考えています。

- (1) 地域内、地域間送電線の熱容量不足解消
- (2) 電力系統平準化運用を目的とする広域運用の導入
- (3) 電力貯蔵設備の新規導入など風力発電の弱点を補完する調整電源確保
- (4) 気象予測制御などを活用した電力供給計画への反映システム構築
- (5) 最大出力抑制、出力上昇率制御運転機能など高機能化した風車制御技術の導入

また、環境アセスメントの効率的・効果的な予測・評価手法を実現し、更に地域住民の方々への丁寧な対応や正しい知見・情報の伝達など情報発信源としての役割も十分認識しながら活動したいと考えています。

最後に

一般社団法人 日本風力発電協会は、会員数が290社・団体を超える大きな協会となりました。風力発電事業に携わるものが、社会的責任（コンプライアンス）を十分認識して、積極的に社会貢献を果たすという姿勢を大切にして、協会活動をより活性化したく皆様のご協力とご支援をお願い致します。